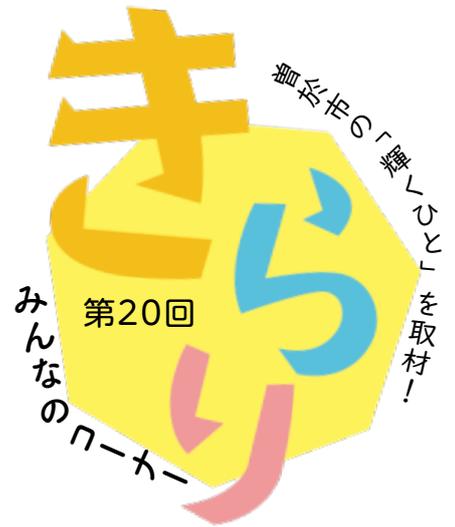




今回は、12年もの間財部北校区の青少年育成指導員をされ、高齢者の見守り隊、交通安全の防犯パトロールなどをされている中村さんにお話を聞きました。

財部町水ノ原
中村 郁夫さん



子ども達は地域の宝物

財部北小学校のスクールガードリーダーを始めませんか？

平成17年頃、校長が学校前に一人で立って子ども達を見守っていたので「一人では大変だな」と思ったのがきっかけですね。その後、平成20年に交通安全協会から、交通安全活動に尽力した功績を表彰してもらい「まだ、これは続けないかんねえ」とずっと地域を巡回しています。

登校時の子ども達の様子はどうですか？

毎朝、子ども達とあいさつを交わして、ハイタッチをしてから学校に入らせるんですよ。

車やスクールバスで来る子どもは降りた途端に走って道路を渡ろうとするので、一回止めて、「左右を確認して車が止まるのを見てから渡りなさいよ」と言っています。それで、ハイタッチとあいさつをすれば自然と足が止まるので、必ずするようにしています。

思い出（ハプニング）は？

雨が降る朝に来るのが遅い子がいて

て坂の途中まで迎えに行ったら、傘を差していなかったんです。それで、「今日は雨が降っているのに傘はどうしたの？」と聞くと、「家から持って出たけど…傘がない…」

「どこに置いてきたの？」と聞くと、頭をひねって考えているので「おじさんが探してくるから、あなたは学校に行きなさい」と、通学路を探して傘を学校に届けたこともありましたね。

立哨活動を始めて感じたことは？

交通立哨に一日行ったら、毎日行きたくなりましたね。それから、雨が降ろうが雪が降ろうが一日も休まずに行き、子ども達を見守ってきました。もともと子ども好きなのもありますが、ほんと可愛くて素直ですし、よく返事もしてくれるので私が子ども達に元気をもらっていますよ。そのかわり卒業式や運動会など学校で行事があるときには必ず行くようにしています。

家族への協力は？

以前は、妻も仕事に行っていた

ため朝は忙しく、私が立哨から帰ってから、片付けを手伝っていました。犬の散歩にも毎朝私が連れて行き、お互い家のことも協力し合っていますよ。

立哨活動を通して伝えたいことは？

最近、交通事故が多いから、運転手は子どもを見たら止まるか徐行をしてもらいたいですね。

自分の子どもだと思って、責任をもって安全運転してほしいです。

「子ども達のために後継者が育ってくれるといいのですが」と話していたのが印象的でした。悲惨な事故が多発していますが、子ども達を見守る中村さんは地域にかかせない方となっています。



【取材：曾於市男女共同参画推進員】
島子正一郎・馬場雅子・牧元宝治・末永順子